広域観光連携丹波篠山多言語解説整備事業

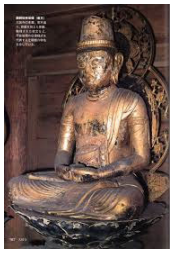
（西日本広域観光連携文化財活用丹波篠山推進協議会）

キーワード

①QRコードを活用した多言語文化財紹介システム
②ＷＥＢマップシステム
③多言語翻訳チャット
など

導入事例

大国寺本堂
（国重要文化財）



木造大日如来坐像
（国重要文化財）

木造阿弥陀如来坐像
（国重要文化財）

概要、特徴

（文章、画像を用いたフリーフォーマット）

兵庫県丹波篠山市は近年訪日外国人が増加傾向にある。本事業により多言語解説整備を行うことで訪日外国人の誘客拡大につなげていくため下記の取り組みを実施。

⑴多言語翻訳システムの導入
⑵先端技術を駆使した多言語看板整備
⑶多言語パンフレット
⑷多言語対応HP作成
⑸翻訳に取り組んだ。
※翻訳は英・中（繁体・簡体）の二か国語

アピールポイント

（文章、画像を用いたフリーフォーマット）

丹波篠山市内の文化財１１ヵ所に設置されたQRコードを外国人観光客自身のスマートフォンから読み込むと、自らの母国語で解説文が閲覧できる。より深く知りたいことがあった場合は、多言語翻訳チャットを使って観光客の母国語でお問い合わせが可能。
さらに、16言語の検索エンジンに最適化された「トラベルチャンネル」を搭載したポータルサイトにこれらの情報を集約することで、
世界各国の旅マエ旅行客へのアプローチを実現。

担当者連絡先

社名：西日本広域観光連携文化財活用丹波篠山推進協議会
住所：兵庫県神戸市中央区東川崎町１－３－２（ＪＲ西日本神戸支社５階）
電話：078-371－２８１０
担当：大野宏